

平成21年3月期 会社説明会

平成21年6月8日

 **カンダホールディングス株式会社**

■ 経営理念

- 一、私達は、物流を通じて社会の発展に貢献します。
- 一、私達は、お客様に満足されるサービスを提供し、お客様と共に繁栄します。
- 一、私達は、研究と創造に努め、自己改革に挑戦します。
- 一、私達は、和の精神を大切にし、社員の生活向上を目指します。

目次

■カンダグループの概要

会社概要・事業概要	1
会社沿革	2
カンダグループの構成	3
カンダグループの主要な営業拠点	4

■平成21年3月期決算の概要

営業収益・営業利益の推移	5
経常利益・当期純利益の推移	6
取扱品目別営業収益の構成	7
連結財務指標	8
連結貸借対照表	9
連結キャッシュフロー計算書	10
配当金及び配当性向の推移	11

■中期経営計画

ビジョン・経営方針	12
計数目標	13
グループ事業戦略	14
コーポレート機能	15

■主な取組と事業展開

基本方針	16
新センターの建設	17
CMSの導入	18
安全への取り組み	19

カンダグループの概要

商号	カンダホールディングス株式会社
所在地	東京都千代田区三崎町3-2-4
創業	昭和18年11月
代表者	代表取締役社長 勝又一俊
資本金	17億7,278万4千円
事業内容	グループ全体の事業活動を統括・管理する
従業員数(連結)	1,770名(平成21年3月末日現在)
グループ会社	19社



平成21年:持株会社体制へ移行

商号を「カンダホールディングス株式会社」に変更

平成16年:東京証券取引所市場第二部へ株式上場

価値ある物流を未来へ

平成6年:日本証券業協会に株式を店頭登録

平成3年:カンダコーポレーション(株)へ社名変更

運送業から物流業へ

昭和46年:大手量販店の専用物流センター稼働 一括配送業務開始

昭和38年:出版物共配開始

当社の呼びかけで全国への出版物流を共同配送化し実施。

昭和20年代:定期路線網の構築

「神田便」の名称で定期便を運行、路線事業開始

昭和19年:神田運送(株)設立

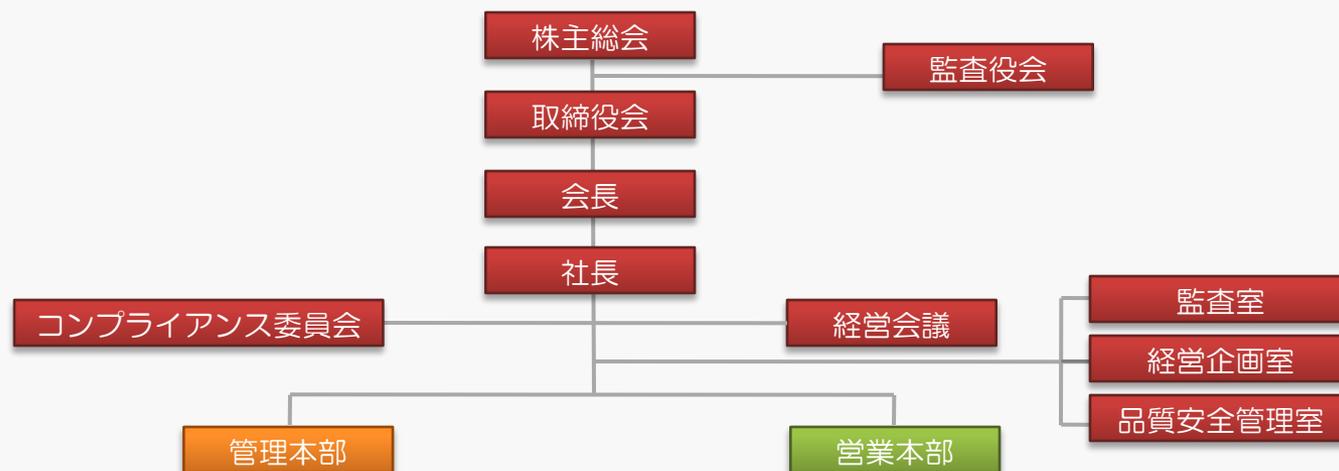
神田運送株式会社設立。本社:東京都神田区佐久間町 資本金:230万円

昭和18年:発足

自動車交通事業法により東京都神田区内の全運送会社16社が一括統合され発足する。



カンダホールディングス株式会社



並列事業会社

(株)カンダコアテクノ

カンダコーポレーション(株)

(株)モリコー

(株)ケイコム

神田ファイナンス(株)

(株)神田エンタープライズ

機能分担会社

事業分担会社

(株)レキスト

(株)オービーエス

埼玉配送(株)

神協運輸(株)

栃木配送(株)

群馬配送(株)

(株)名岐物流サービス

ワカバ運輸(株)

ヤマナシ流通(株)

(株)ケイ・トランスポート

(株)アサクラ

(株)カンダビジネスサポート

(株)ロジメディカル

東京

- (北区) 浮間営業所
- (江東区) 有明営業所
辰巳営業所
東京CSセンター
- (千代田区) 西神田営業所
国際輸送センター
引越総合センター
- (西多摩郡) ※多摩営業所

千葉

- (浦安市) 東京センター
- (東金市) 東金センター
- (習志野市) 習志野物流センター

東北地区

宮城

- (仙台市) 東北物流センター

※ 新設事業所

埼玉

- (桶川市) 桶川営業所
桶川東部センター
- (加須市) 埼玉営業所
加須花崎営業所
- (熊谷市) 熊谷営業所
- (さいたま市) 岩槻物流センター
- (所沢市) ※所沢センター
- (戸田市) ロジテクノセンター
- (蓮田市) 蓮田物流センター
- (吉川市) 吉川東部センター
- (北埼玉郡) 大利根センター

中部地区

愛知

- (小牧市) 小牧営業所
東海CSセンター

群馬

- (太田市) 太田営業所
- (高崎市) 高崎営業所
高崎第二営業所
- (館林市) 館林営業所
- (邑楽郡) 邑楽営業所

栃木

- (足利市) 足利営業所
北関東CSセンター
- (小山市) 小山協同センター
- (鹿沼市) 宇都宮営業所

関西地区

大阪

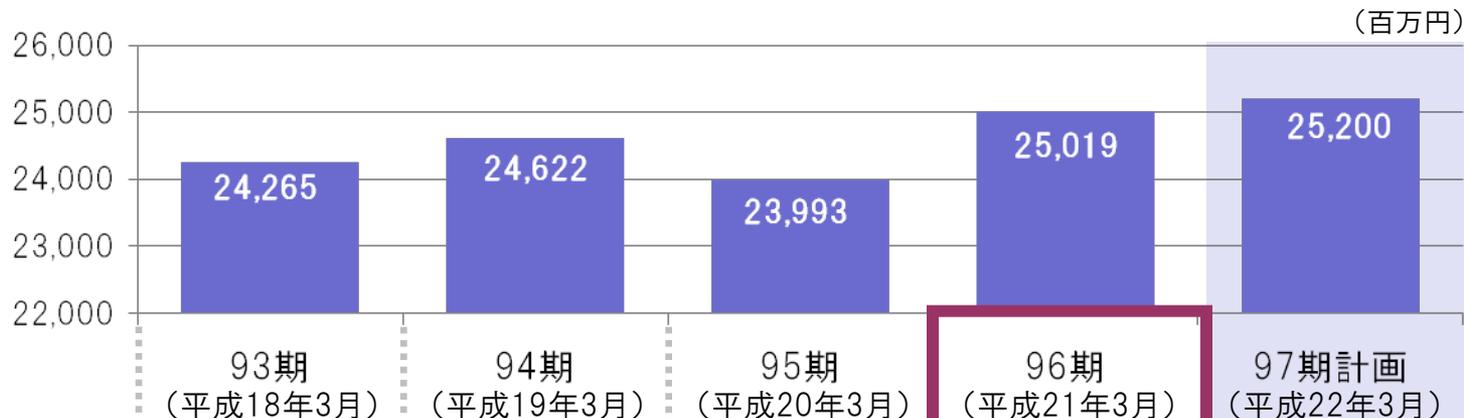
- (堺市) 大阪営業所
- (東大阪市) 東大阪営業所
- (守口市) 関西CSセンター



平成21年3月期決算の概要

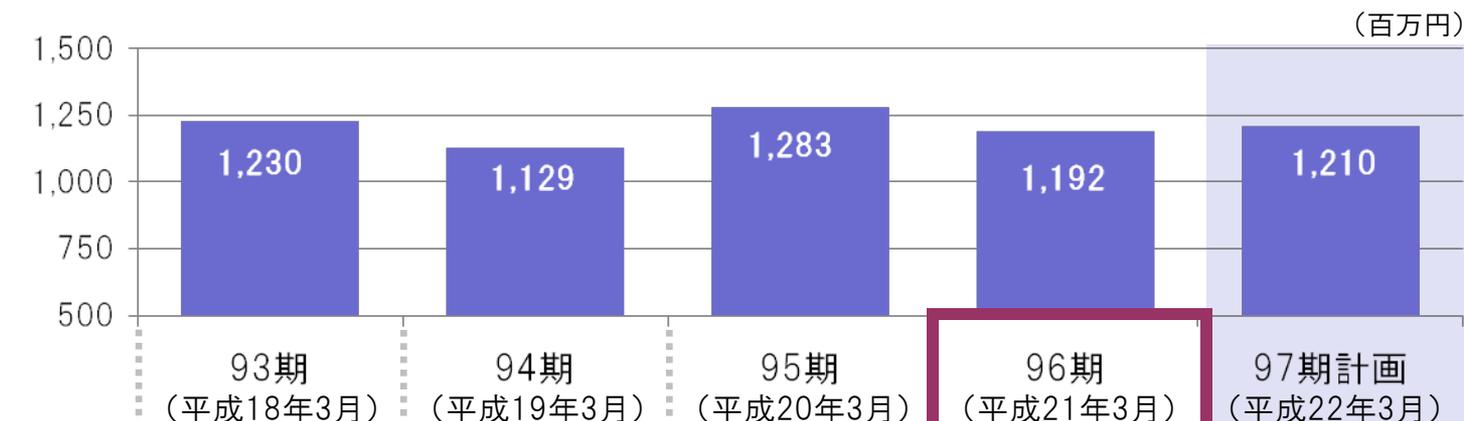
営業収益・営業利益の推移(連結)

■ 営業収益



連結	営業収益	24,265	24,622	23,993	25,019	25,200
	前期比	2.4%	1.5%	△2.6%	4.3%	0.7%

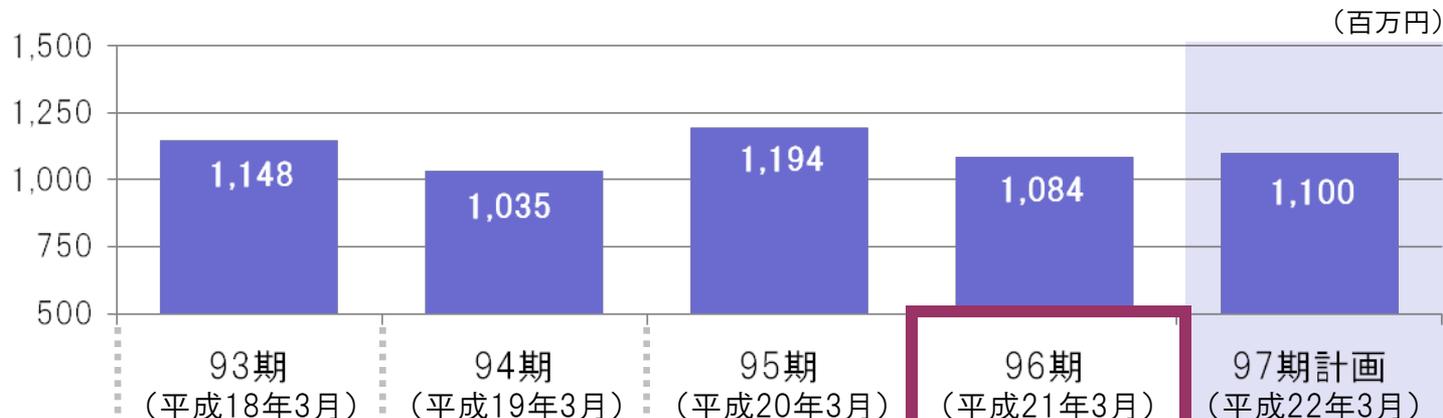
■ 営業利益



連結	営業利益	1,230	1,129	1,283	1,192	1,210
	前期比	△14.7%	△8.2%	13.7%	△7.1%	1.5%

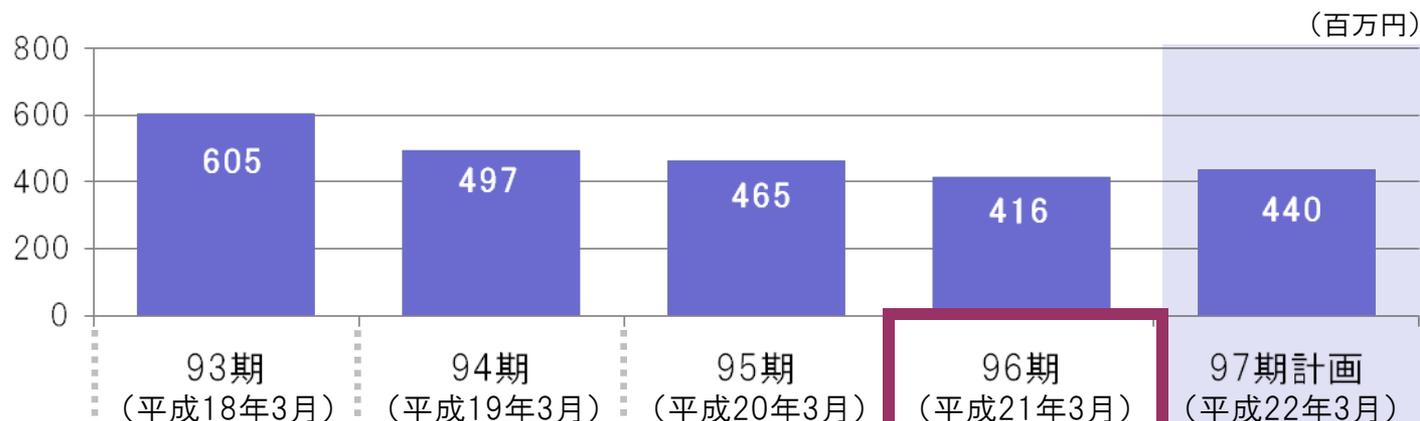
経常利益・当期純利益の推移(連結)

■ 経常利益



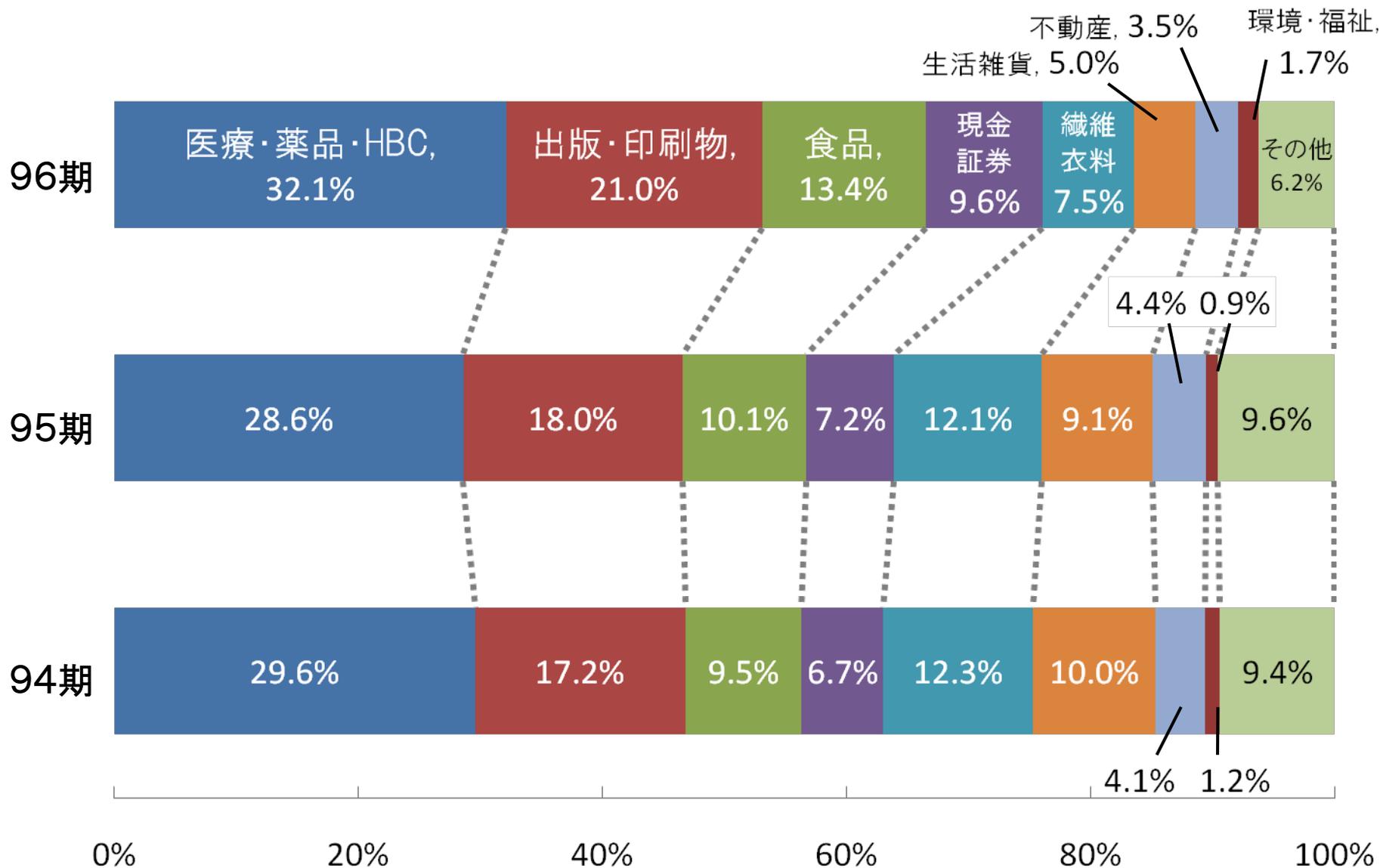
連結	経常利益	1,148	1,035	1,194	1,084	1,100
	前期比	△13.9%	△9.9%	15.4%	△9.2%	1.4%

■ 当期純利益



連結	当期純利益	605	497	465	416	440
	前期比	△8.2%	△17.9%	△6.4%	△10.4%	5.5%

取扱品目別営業収益の構成



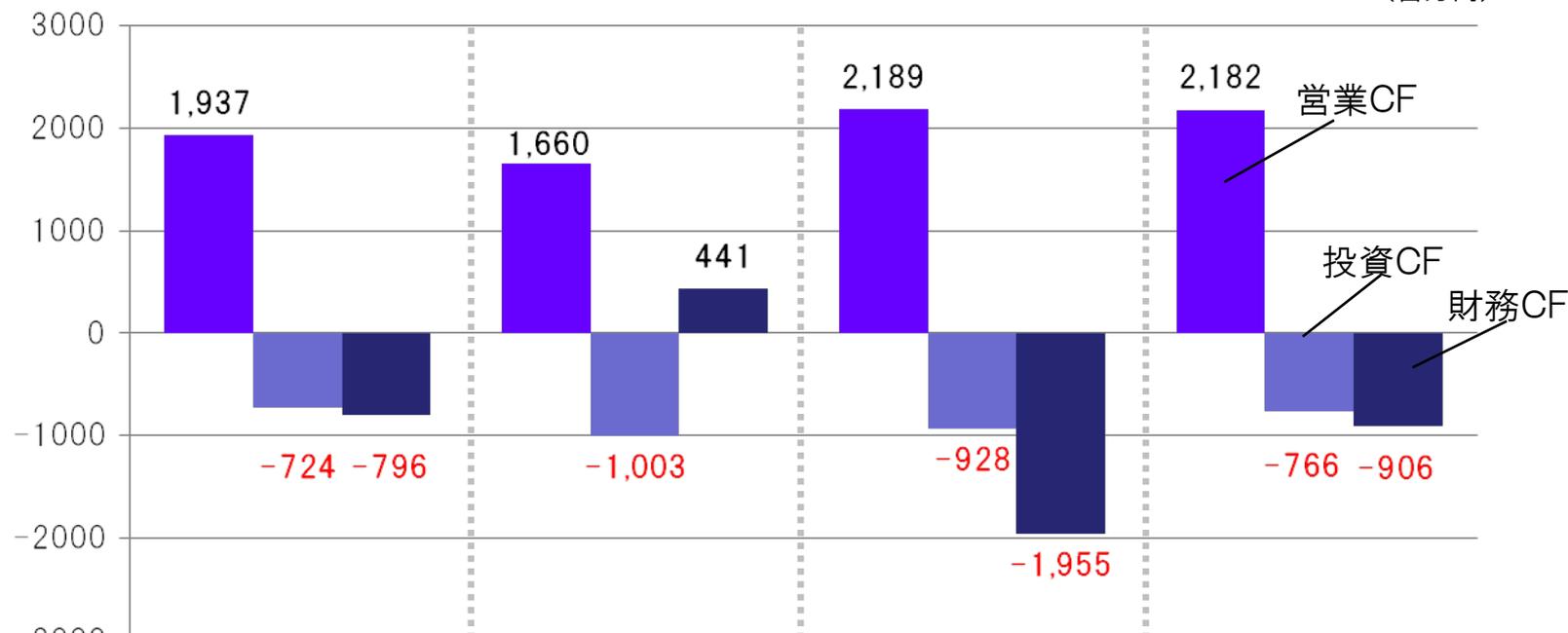
	93期 平成18年3月	94期 平成19年3月	95期 平成20年3月	96期 平成21年3月
総資産 (百万円)	29,009	30,144	28,989	28,492
純資産 (百万円)	10,082	10,258	10,339	10,493
1株あたり純資産 (円)	880.38	892.27	919.98	941.71
1株あたり当期純利益 (円)	49.44	43.43	41.26	37.52
自己資本比率 (%)	34.7	33.9	35.5	36.6
自己資本利益率(ROE) (%)	6.2	4.9	4.5	4.0
総資産経常利益率 (%)	4.0	3.5	4.0	3.8
売上高営業利益率 (%)	5.1	4.6	5.3	4.8
売上高経常利益率 (%)	4.7	4.2	4.9	4.3
負債資本倍率(DEレシオ) (倍)	1.2	1.3	1.1	1.0
有利子負債 (百万円)	12,295	13,277	11,546	10,790
債務償還年数	6.3年	8.0年	5.3年	4.9年



(百万円)

		93期 平成18年3月	94期 平成19年3月	95期 平成20年3月	96期 平成21年3月
	流動資産	6,396	7,516	6,851	7,299
	固定資産	22,612	22,627	22,137	21,193
	資産合計	29,009	30,144	28,989	28,492
	流動負債	12,158	11,227	11,643	12,787
	固定負債	6,768	8,658	7,006	5,211
	負債合計	18,927	19,885	18,650	17,998
	純資産合計	10,082	10,258	10,339	10,493
	負債・純資産の合計	29,009	30,144	28,989	28,492

(百万円)



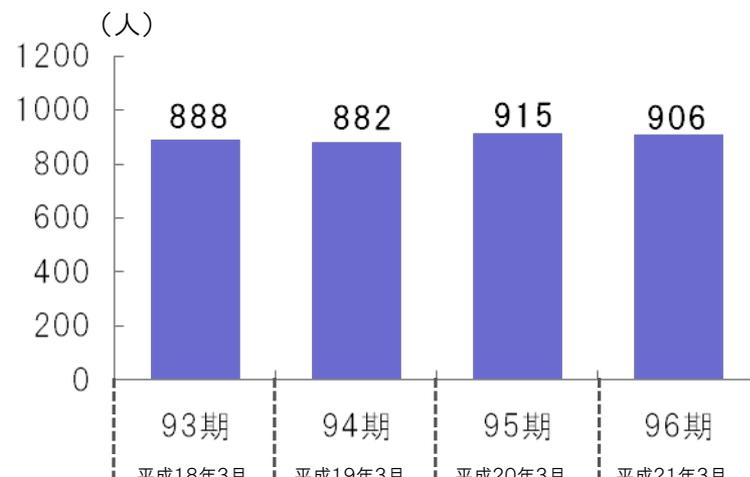
	93期 (平成18年3月)	94期 (平成19年3月)	95期 (平成20年3月)	96期 (平成21年3月)
営業CF	1,937	1,660	2,189	2,182
投資CF	△724	△1,003	△928	△766
財務CF	△796	441	△1,955	△906

■ 配当の状況



1株当り年間配当金	10円	10円	10円	10円
配当性向	20.2%	23.0%	24.2%	26.7%

■ 株主数の推移



株主数(人)	888	882	915	906
--------	-----	-----	-----	-----

■ 自己株式取得状況

平成21年3月末までの間に100,500株の自己株式取得を実施、平成21年3月末時点の自己株式は570,451株(総発行株式に占める割合:4.89%)となっております。

■ 株主優待制度

94期(平成19年3月期)より株主優待制度を実施しております。

中期経営計画

(平成21年4月～25年3月)

■ビジョン

- ①これまでの物流の枠を超え、総合物流サービス事業の創造と提供を進め、流通のソリューションカンパニーを目指します。
- ②提携企業及びパートナー企業との協業により、全国をカバーし得るインフラ・体制を構築する。
- ③グループ内各カテゴリー間でのシナジーを創出し、改善・改革を推し進める。

■経営方針

企業活動を通じて、全てのステークホルダーに対して責任を果たし、信頼を得ることのできる経営を行います。

- ①コア事業に経営資源を集中し、競争優位な事業形成を図ります。
- ②他に先駆けた「+ α 」のサービス(付加価値)を提案、提供することで、高度化・差別化を実現します。
- ③事業会社の拡充(新事業会社への分割及びM&A含む)を図ります。
- ④コンプライアンスと環境対策に重点を置いたCSR経営を推進します。

「変革から創造へ」をスローガンに、新たに「第Ⅲ次4ヶ年経営計画(平成21年4月～平成25年3月)」を策定しました。

急激に変化する経済環境に対応するために、企業価値向上と変化に即応する運営体制構築を基本とし、当社グループが培った「ノウハウ」・「機能」を活用し、戦略的で収益性・競争力の高いサービスの提供と事業の展開を目指してまいります。

■ 計数目標

	初年度 平成22年3月	最終年度 平成25年3月
売上高 (百万円)	25,200	30,000
経常利益 (百万円)	1,100	1,650
当期純利益 (百万円)	440	825
売上高経常利益率	4.4%	5.5%

- ・計画最終年度D/Eレシオ(有利子負債／自己資本)で1未満を目標とします。
- ・計画最終年度には、自己資本比率(自己資本／総資産)は40%以上の達成を目標とします。

■ 戦略

コアコンピタンスの強化と拡充

- ①当社のもつ基本的な機能・サービスである「輸配送(共同配送)」「センター業務請負」「3PL」「キャッシュサービス」「情報サービス」それぞれの持つ「ノウハウ」「技術」の高度化を図り、時代に即応した、新たな機能及びサービスの開発を通じて、コアコンピタンス(競争優位な事業)を育成・強化することで、同業他社との差別化を図ると共に高い収益性を確保してまいります。
- ②目標達成に向けての体制(インフラ)整備の一環として、また、今後の活動基盤ともするべく、拠点施設の開設を計画致します。

■グループ事業戦略

■カンダコーポレーショングループ

- ①輸配送事業(トランスネット営業部及び担当グループ会社)
- ②3PL事業(3PL営業部及び担当グループ会社)
- ③共同物流事業(LS営業部及び担当グループ会社)
- ④現金輸配送事業(CS営業部)

■カンダコアテクノグループ

- ①医薬品物流事業
- ②顧客サポート事業
- ③引越事業

■新規事業会社の設立

■CSR活動

コンプライアンス

法令・倫理綱領・社会規範・会社諸規程等に基づく企業倫理を確立し、公正で誠実な経営を実践します。

内部統制

- ・内部統制(会社法 J-SOX 各業法)を強化します。

品質管理

- ・事故防止

全事業所を対象にGマーク(安全性優良事業所)認定取得を進めます。

運輸安全マネジメントの実施を強化します。

「セーフティアドバイザー制度」(グループライセンス制度)の充実を図ります。

- ・作業品質

カテゴリー別の「カンダグループ基準」を設定、業務ごとの評価、点検を行います。

業務プロセスの文書化(マニュアル整備)を行います。

環境対策の活動

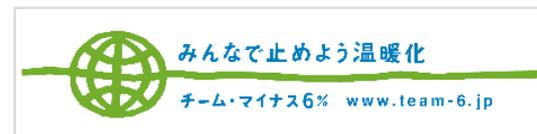
- ・改正省エネ法による特定輸送事業者として対応強化を図り

省エネルギーと環境保全推進に努めます。

- ・「グリーン経営認証」の取得を進めます。

- ・エコドライブ運動をはじめ、環境対策への取り組みを強化します。

※ 創立70周年となる最終年度(平成25年)に「環境」をキーワードとした記念事業を企画します。



主な取り組みと事業展開

■平成21年度 基本方針

1. コンプライアンス経営を徹底する。
2. 赤字営業所・赤字グループ会社を黒字化する。
3. 新規業務を獲得し、新たなコア事業の枠組み造りに着手する。
4. 交通事故・労災事故を撲滅する。
5. ダッシュ活動と5S運動を推進し、業務品質の向上を図る。

■用地取得及び物流センターの建築

業容の拡大

当社は物流センター建設用地の取得及び物流センターを建設いたします。
今後の当社物流業務拡大に対応するとともに、現在、分散している近隣の物流センター3カ所を統合することによる合理化と生産性の向上を図ります。

投資の概要等

物流センター建設用地

- ・取得価格 約7億5千万円
- ・所在地・面積 群馬県邑楽郡 約26,400㎡

物流センター建設

- ・建設費用 約17億5千万円

日程

- ・平成21年7月 用地取得予定
- ・平成22年7月 センター完成予定

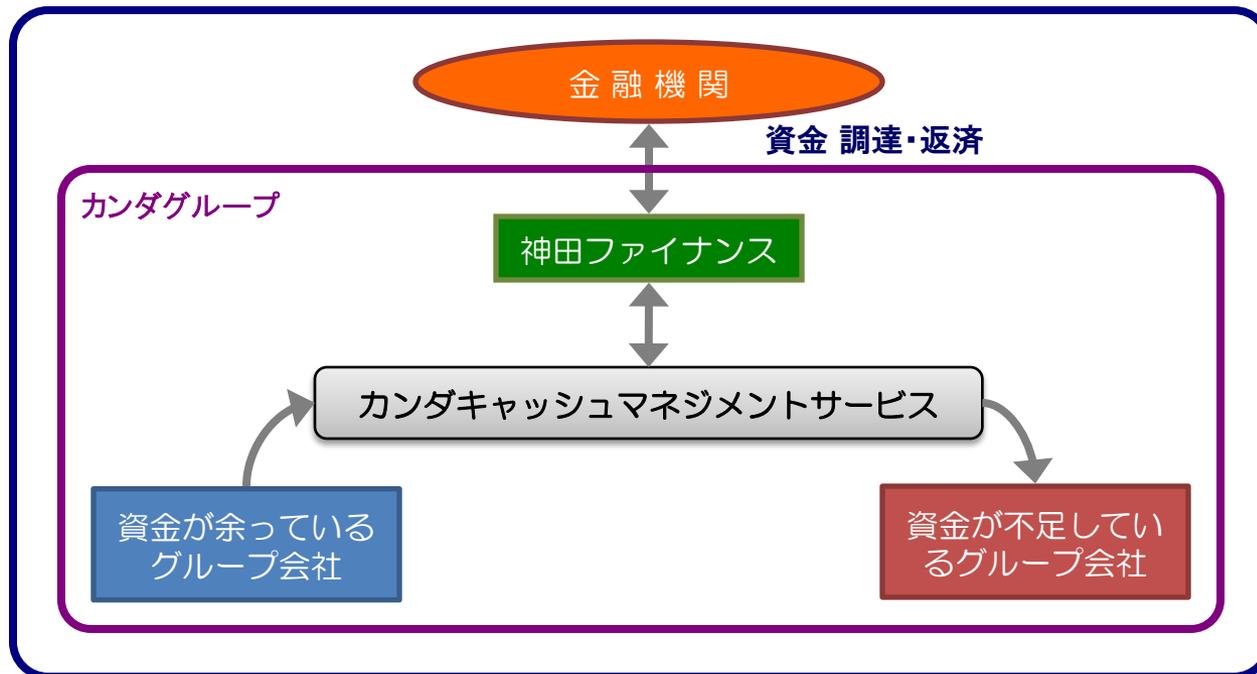
■現状の倉庫面積

平成21年3月末現在の全社総倉庫面積は約46,000坪
(自社施設31,500坪・賃貸施設14,500坪)

■CMS運用によるグループ内余剰資金の活用

- ・今年5月よりグループ会社を対象としたCMSの運用を開始。
- ・グループの資金を集中管理することにより、グループ内における有利子負債の圧縮及び不要な手持ち資金の削減(現預金の圧縮)を図ります。
- ・CMSの活用で、有利子負債4億円程度(平成21年3月末の有利子負債総額の約4%)の圧縮を目指します。

<カンダグループのCMSの仕組み>



※ CMS(Cash Management System)
グループ会社の余剰資金や資金不足を一元管理し、過不足を調整する仕組み

■カンダグループにおける運輸安全マネジメント

平成18年10月の運輸安全一括法施行にともない、カンダグループにおいては「運輸安全マネジメント」を実施、社長以下従業員全員が一丸となった安全管理体制の構築を進めております。

■平成21年度 安全管理方針

- 1) 交通事故半減
- 2) 飲酒運転防止対策の強化
- 3) 労災事故半減



安全と生命はすべてに優先する
「交通事故」や「労働災害」発生防止への取り組み

■平成21年度の取り組み

- ・安全性優良事業所認定(Gマーク)申請取得・・・4事業所にて取得済
- ・セーフティアドバイザー活動による添乗指導の定着と拡大
- ・エコドライブコンテストの開催
- ・一般適性診断受診の推進
- ・リスクアセスメント研修会の開催
- ・店所巡回安全講習会の実施



■平成20年度までの取り組み

- ・バックアイカメラの導入・・・626台装着(総登録車両701台)
- ・ドライブレコーダーの導入・・・102台装着(デジタルタコグラフ装着車含む)
- ・アルコールチェックシステムの導入・設置・・・グループ全配送拠点に設置(67台)
- ・簡易型アルコールチェッカーの導入・・・100台導入



※詳細は当社ホームページをご参照ください。

当資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。

記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであります。

従いまして、将来の計画数値や施策の実現等の記載された内容を確認したり保証するものではなく、実際の業績は当社を取巻く様々なリスク及び不確実性により、これら見通しとは異なる結果をもたらすことがあることをご承知おきください。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社はこれを保証するものではありません。



お問合せ先:カンダホールディングス株式会社 総務部株式課

電話(03)-3265-1841(代) FAX(03)-3237-7385

e-mail: soumu_info@kanda-web.co.jp